



鈴木 洋 社長

(昭和35年12月7日 第三種郵便物認可)

毎月7日、17日、27日発行

2年11月27日
(1020年)

遠距離拠点でリスク軽減 コロナ禍を聞く 鈴木紙器社内の「壁」撤去

愛知、福岡、宮城と、中小規模のボックスメーカーとしては珍しい、超遠距離複数の拠点でビジネスを開いてきた(株)鈴木紙器(愛知県碧南市)。鈴木洋社長が就任して2年目、経営を引き継ぎ間もない状況で新型コロナの逆風を受けるが、人の移動や接触に制限がある状況で、超遠距離がいもよらぬリスク軽減になった一面も。不透明な経済状況下、どのような経営ビジョンを描くのか、8月7日にオンラインで聞いた。

会社紹介を。

1955年に愛知で紙器メーカーとして創業、62年段ボールに参入、94年福岡県八女市に九州工場開設、その後九州鈴木紙器として独立、2012年宮城県柴田町に東北工場開設、現在は3拠点合計70名体制で年商16億円。顧客は食品や自動車関連が多く、段ボール

か。
—国内拠点がこれだけ分散しているのは珍しい。

愛知は自動車産業が盛んで、主力の段ボルケースに加えて部品用のアラダケースも多く受注

—国内拠点がこれだけ分散しているのは珍しい。

九州に新工場を建てるの

に合わせ、当社も進出し

これだけ離れた拠点が出

来たが、実は勝手に後を

付いていったようなもの

で、東北に至っては本当

に受注予定も見込みもゼ

—愛知ファミリーフレン

ドリー企業」に認定され

ているが、同制度は愛知

県がワーク・ライフ・バ

ランスの実現や、育児、

介護、地域活動など仕事

以外の活動を両立できる

よう積極的に取組む企業

を奨励するもので、2018年に初めて認定され

—今後の方針を。

—社長就任から2年、

注力してきたことは。

—社員の負担軽減を重視している。

前述の省力化設備は主に

検査装置だが、直接生産

に寄与しないので、一般

の業務面でも省力化設備

が長く、近年の物流危機

鈴木 紙器
コロナ禍を聞く
木 紙 器
社 内 の 「壁」 撤 去

一ジを軽減してくれる
る。人材確保の面でも、
本社周辺の限られたエリ
アから募集範囲を広げ、
有能な人材に出会えるチ
ャンスが増えるのだか
ら、会社の将来を考え
ば、正しい選択だった。

—現状は。

人手不足が問題になっ

ては6・4くらいだろう

か。

市の本社工場は7・3、
東北と九州は同1・9く

ういの割合で、全体どし

ては6・4くらいだろう

か。

九州に新工場を建てるの

に合わせ、当社も進出し

これだけ離れた拠点が出

来たが、実は勝手に後を

付いていったようなもの

で、東北に至っては本当

に受注予定も見込みもゼ

—愛知ファミリーフレン

ドリー企業」に認定され

ているが、同制度は愛知

県がワーク・ライフ・バ

ランスの実現や、育児、

介護、地域活動など仕事

以外の活動を両立できる

よう積極的に取組む企業

を奨励するもので、2018年に初めて認定され

—今後の方針を。

—社長就任から2年、

注力してきたことは。

—社員の負担軽減を重視している。

前述の省力化設備は主に

検査装置だが、直接生産

に寄与しないので、一般

の業務面でも省力化設備

が長く、近年の物流危機

が大きくなる。

—社員の負担軽減を重視している。

前述の省力化設備は主に

検査装置だが、直接生産

に寄与しないので、一般